埼玉大学紀要

(教養学部)

第57巻 (第1号)

2021

(目 次)

大学生メンタルヘルスと薬物療法の現在・・・・・・・・・・・・・近	江		翼.	••••(1)
実体主義の論理としての部分論理(1)・・・・・・・・・・・・・加	地	大	介·	••••(21)
自伝的記憶としての感動体験と体験後の変化に関する探索的検討 趙 一日本・中国の大学生および社会人への半構造化面接を通して一		丹	寧 .	(37)
ヴァティカン図書館所蔵ギリシア語詩篇写本 1927 番 第 3-10 葉に関する記述	絵	理	子.	(55)
言語、意味そして事実に関する理論・・・・・・・・・・・・都	築	正	信・	••••(67)
細形銅剣出現後の日韓青銅器流通と鉛同位体比 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	村	大	介・	••••(85)
米国トランプ第一期政権と 2020 年大統領選挙における 平 ブランド戦略 (1) 研究ノート	林	紀	子 ·	(1	09)
知識論証再訪 · · · · · · · · 星	野		徹·	(1	31)
コーパスデータに基づく形容詞の敬語に関する一考察・・・・・・・・ 劉		志	偉·	(1	45)
志賀親朋書翰集翻刻(二)···· : : : : : : : : : : : : : : : : :	田山	和雄三	彦 :郎	(1	71)

埼玉大学教養学部

埼玉大学紀要(教養学部)投稿規程

(名称及び発行)

- 第1条 埼玉大学紀要(教養学部)と称し, 英語名を Saitama University Review(Faculty of Liberal Arts)と する。
- 2 埼玉大学紀要(教養学部)(以下「紀要」という。)は、埼玉大学大学院人文社会科学研究科(学際系) 教員(以下「本学部教員」という。)等の学術研究成果を発表することを目的とし、原則として年2回発行 し、2号分をもって1巻とする。

(投稿資格)

- 第2条 紀要へ投稿できる者は、原則として本学部専任教員および本学部の非常勤講師とする。但し、教養学部紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)および教養学部学部長室(以下「学部長室」という。)が必要と認めた場合は、本学部教員以外の者にも投稿を許可することができる。
- 2 共著の場合は、本学部専任教員が主たる研究者となり執筆したものに限る。

(論文等の掲載の可否)

第3条 掲載の可否は、編集委員会が決定する。

(不正行為の防止)

- 第4条 本誌に投稿する論文等は、いずれも他に未発表のものに限る。他の学術誌等に投稿済のものの 投稿は二重投稿とみなし、本誌での掲載を認めない。
- 2 投稿論文の研究あるいは執筆において重要な貢献をなしていない者が著者となることはできない。また、不適切なオーサーシップの疑義があると学部長室が認めた投稿論文等は、本誌への掲載を認めない。

(掲載順序)

第5条 掲載順序は、原則として、横書き、縦書きそれぞれの投稿者氏名の50音順とする。

(経費)

第6条 紀要発行に要する経費は、原則として学部負担とする。

- 2 カラー印刷など特殊な印刷を要する場合、その印刷経費は原則として投稿者負担(運営費)とする。
- 3 別刷りの経費は原則として投稿者負担(運営費)とする。

(著作権等)

- 第7条 本文の一部や図・表・写真等を他の著作物から転載したり、オリジナルを掲載する場合、著作権に 関わる問題や法令上の手続きは、投稿者があらかじめ処理するものとする。それらについて問題が生じ た場合は、その責は投稿者が負うものとする。
- 2 投稿者は、埼玉大学に対して、当該論文等の印刷、電子的記録媒体(USBメモリ等)への変換・複製、 学内外への配布を原則として許諾するものとする。
- 3 投稿者は、埼玉大学及びこれが委託する機関等に対して、当該論文等の送信可能化・コンピュータネットワーク等での学内外への公開を原則として許諾するものとする。

埼玉大学紀要(教養学部) 第57巻(第1号)

2021年 9 月 30 日 印刷 2021年 9 月 30 日 発行

編集兼 埼玉大学教養学部 発行人 さいたま市桜区下大久保255番地

印刷所 有限会社 大谷製版

埼玉県さいたま市見沼区深作3-33-12

Saitama University Review

(Faculty of Liberal Arts)

Vol. 57 (No. 1)

2021

Contents

Current Trends of College Student Mental Health and Pharmacotherapy	· OMI Tsubasa · · · · · · (1
Partial Logic as a Logic for Substance Ontology (1)	· KACHI Daisuke · · · · · · (21
Constructs and Influences of Moving Experiences as Autobiographical Memories: an Exploratory Study in Japan and China	· ZHAO, Danning · · · · · · (37
A Further Description of Cod. Vat. gr. 1927, ff.3-10: A Comparison with Marginal Psalters	· TSUJI Eriko · · · · · · (55
A Theory of Language, Meaning and Facts	· TSUZUKI, masanobu · · · · · (67
Distribution of bronze artifacts and Lead Isotope Ratios between Japan and Korea after the forming of Slender Bronze Dagger	· NAKAMURA Daisuke · · · · · (85
Branding President Trump: Strategies during his first-term presidency and the 2020 reelection campaign, Part 1, Research note	· Noriko HIRABAYASHI · · · · · (109
The Knowledge Argument Revisited · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· Toru HOSHINO · · · · · · (131
A Report on Honorific phrases using adjectives in Japanese Language: Based on BCCWJ	· LIU Zhiwei · · · · · · (145
Letters Written by Chikatomo SHIGA: Reprint (2)	· SAWADA, Kazuhiko HATAKEYAMA, Yūzaburō · · · (171)

Faculty of Liberal Arts
Saitama University